Okumura Yoshimasa Kensei Report

滋賀県議会議員
奥村よしまさ 県政レポート

Vol.74
令和7年8月 発行

戦後80年、平和への思いを未来へ繋ぐ!

本年、私たちは戦後80年という節目の年を迎えました。

あの未曾有の戦禍から立ち上がり、日本は幾多の困難を乗り越え、平和と繁栄を築いてまいりました。私たちが今、安心して暮らせるこの日常は、戦争を経験し、命をつないできた多くの方々の犠牲と努力の上に成り立っています。

80年という歳月は、記憶が風化するには十分な時間かもしれません。しかし、私たちにはその記憶を次の世代へと語り継ぎ、二度と同じ過ちを繰り返さないという決意を新たにする責任があります。今一度、戦後の歩みを振り返り、平和の尊さに思いを馳せながら、未来を担う世代とともに、持続可能な社会と世界の平和に向けて歩んでまいりましょう。

滋賀県議会6月定例会議にて下記項目について質問を行いましたので、一部抜粋・要約してご報告させていただきます。〈令和7年6月19日一般質問より〉

米価格の高騰について

今年に入り米価高騰が深刻化し、県民生活にも影響が出ています。5月に就任した小泉農林水産大臣は備蓄米を放出しましたが、5月25日時点で売渡分31万トンのうち流通先に届いたのは約6万トンにとどまります。県も流通調査を進めるとしていますが、影響の大きさを考えると対応が遅く感じられます。調査は進めつつ、県としても現時点での情報をもとに早急な対策を講じる必要があります。

備蓄米放出の米価格への影響について、小泉農林水産大臣の就任前と後の違いをどのように分析されているのか伺います。

＜農政水産部長の回答＞

小泉農林水産大臣の就任前は、備蓄米は競争入札で全農などに売却され、店頭では5kgあたり約3,500円で販売されていました。就任後は、5kgあたり約2,000円を目安に、随意契約で小売業者へ直接売却されるようになりました。これにより、令和7年5月19日の週から3週連続で銘柄米の価格が下落し、米価の高騰を抑える効果があったと国は見ています。今後の影響についても、引き続き価格動向を注視してまいります。

ブランド米でも急な価格上昇は買い控えを招き、消費者にも生産者にも不利益です。戦略的な対応が必要と考えますが、今年の収穫後の県産米の流通・販売戦略について、知事の見解を伺います。

＜知事の回答＞

米の需給見通しが不透明な中、本県が産地として安定供給し、環境への配慮やおいしさを発信し信頼を築くことが重要です。特に「琵琶湖システム」の柱である環境こだわり農業による「きらみずき」や魚のゆりかご水田米など、特色ある米の魅力を、生産者の思いや苦労とともに伝えたいと考えています。夏には首都圏や京阪神の小売事業者を招いた産地ツアー、秋には県内外の量販店で近江米PRイベントを予定し、多くの方に近江米を選んでいただけるよう取り組みます。

今回の“令和の米騒動”とも言える事案は、消費者、食の安全保障、生産者・農地保有者、流通など、あらゆる視点から農政の在り方を根本的に見直す契機となったと考えます。今後は、生産者・JA・流通・消費者が「三方よし」となる新たな米政策を真剣に検討すべきです。ブランド化も含めた中長期的なビジョンについて、知事の考えを伺います。

＜知事の回答＞

米を取り巻く環境や施策は国の影響が大きいものの、近江米の振興についても見直しと取組が必要と認識しています。現在策定中の「滋賀県農業・水産業基本計画」では、所得向上に向けた生産力の確保やブランド力強化、販路拡大などを中長期的に検討中です。また、私が会長を務める近江米振興協会では、高温耐性品種の導入や特色ある米づくりを盛り込んだ「近江米生産・流通ビジョン」を年度末に策定予定です。関係機関と連携し、近江米の安定生産と流通に全力で取り組みます。

県内における角膜移植の体制整備について

角膜は透明な膜で視力に重要な役割を果たしますが、病気やけがで濁ると視力が低下します。角膜移植は視力回復に有効で成功率も高く、全国で約2,000人が提供を待っています。滋賀県でもアイバンク事業が行われてきましたが、近年は医療体制の変化により継続が困難となっています。

現在、滋賀県眼科医会、滋賀県健康づくり財団、県の三者で連携し、角膜移植の体制維持について議論を始めているということですが、どうしたら滋賀県で角膜移植が進むのか健康医療福祉部長に伺います。

＜健康医療福祉部長の回答＞

現在、滋賀県眼科医会の方となぜ動いていないのかということをこまめにやり取りしてもらっています。その中では、角膜移植の専門性の関係、技術の習得に一定の期間がかかるということ、県内の病院や眼科医の方で実際に経験をされている方がすごく少ないということですので、眼科医会の方で前向きに色んなことをどうしたらできるか、病院協会がどうしたら動くのかということをやってもらっていますので、少し時間はかかるかも分かりませんが、県としても財団と一緒に、一歩でも前に進めたいと考えています。

来年度NPO法人日本アイバンク運動推進協議会の全国大会が滋賀県で開催されます。患者の方を失望させないためにも、また眼球提供の意思表示をされた方々の崇高な意思を無にしないためにも、県がアイバンク事業の再構築について主導的に取り組んでいく必要があると思いますが、知事の所見を伺います。

＜知事の回答＞

大会があるからすぐにできることではないのかもしれません。ただ、現に角膜移植を待っていらっしゃる方々や、また眼球を提供してもいいよという善意をお持ちの方、現にそういった方が出てこられた時にどういう体制を整えるべきなのかという議論を始めているところです。症例が少ないことに体制を整える程医療機関の財源や人が十分かというと、中々難しい状況ですので、例えば、県だけで整えるのか、少し広げて広域連合の協力など、広域で体制を整えるのかということも含めて、議論を始めているところですので、必要な方に必要な医療が提供できるような体制整備に向けて我々も努力していきたいと思います。

戦没者追悼式に参列いたします

下記追悼式に参列し、戦没者への追悼と平和への願いを胸に、黙祷を捧げたいと思います。

- 8/15 **全国戦没者追悼慰霊祭**（滋賀縣護國神社）
- 8/30 **平和祈念滋賀県戦没者追悼式**（滋賀県立文化産業交流会館）

滋賀県議会議員
文スポ・土木・警察常任委員会／議会運営委員会
国スポ・障スポ大会・観光振興対策特別委員会
関西広域連合議会
議員

自民党滋賀県支部連合会
副会長
第三選挙区支部
幹事長

〈地域での主な役職〉
・滋賀県体操協会 会長
・草津市スポーツ協会 会長
・滋賀県柔道整復師会 顧問
・草津市バレーボール協会 会長
・社会医療法人「誠光会」理事
・滋賀県生活衛生協会 顧問
・滋賀県トラック協会 顧問
・滋賀県電気工事工業組合 顧問
・滋賀ビルメンテナンス協会 顧問

奥村芳正

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588
自 宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL:077- 562-4841 FAX:077-567-1588

活動日記毎日更新中!
奥村よしまさ 検索

LINE 公式アカウント

facebookもチェック!→ 奥村芳正

自由民主党 滋賀県議会議員団 県議会レター

動かす 滋賀県政 do（ドウー）

みなさまの暮らしを豊かに。

Mother Lake Goals

編集・発行／自由民主党滋賀県議会議員団

代表質問 6月定例会議

質問者 **村上 元庸 議員**

1. 滋賀県防災対策の推進に関する条例に基づく取組について
2. 大学連携の現状と今後の取組方針について
3. 今後の行財政運営について
4. 「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」の成功に向けて
5. 強靱かつ持続可能な下水道システムの構築について
6. 平和への取組について
7. 保育人材の確保について
8. 中小企業の“稼ぐ力”の強化について
9. 観光誘客・振興について
10. 水産業の直面する課題について
11. 水田農業の推進について
12. 道路整備事業の推進について
13. これからの滋賀の教育行政について
14. トクリュウ対策について

「わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ」の成功に向けて

Q 現在把握している大会に向けた課題への対応と準備状況、更なる機運醸成に向けた取組について伺う。

A 開催に向けましては、国スポリハーサル大会などを踏まえ、大会運営やおもてなしの準備を着実に進めており、警備や熱中症予防など、本番を想定した対策に取り組んでいるところです。

加えまして、障スポリハーサル大会では、悪天候下での開催判断や、運営スタッフやボランティアの活動等について課題や改善点を再認識したところであり、その対応を指示しているところでございます。

大阪・関西万博の期間との重複から心配しておりました宿泊施設やバスの確保につきましても、県内のホテル・旅館などの宿泊施設やバス会社等の御協力により、おかげさまで概ねの目途が立ってまいりました。

更なる機運醸成に向け、ＪＲの駅など街を大会装飾で彩るシティドレッシングを展開いたしますとともに、大会100日前イベントとして平和堂ＨＡＴＯスタジアム周辺の一斉清掃を実施いたしますほか、市町におきましては炬火（きょか）イベントや大会期間中の情報発信なども企画されております。県民や企業、市町の皆様にも御協力いただきながら、オール滋賀で大会を盛り上げてまいりたいと存じます。捉えているところです。全国大会や日本代表等の合宿の開催に向けて、「攻め」の誘致活動を展開してまいりたいと思います。

Q 国スポ・障スポの将来を展望し、どのような大会を目指しているのか伺う。

A 昨年の佐賀大会では、自由で楽しさあふれる開・閉会式など、新しい大会として様々なチャレンジが行われたところでございます。これらの取組を滋賀らしく進化させることに加えまして、環境配慮の実践など、滋賀ならではの取組を通じて大会に関わるすべての人が光り輝く大会となることを目指しております。

公共交通機関の積極的な活用やマイボトル持参など、大会を通じて環境を考える機会が根付き、また、ボランティアの皆さんの活躍が、スポーツを支える文化の醸成につながるものと確信しております。そして、これらの思いは、後々の大会にも受け継がれていくものと考えております。

県民の皆様と一緒に、滋賀ならではの魅力と感動をつくり出し、湖国で生まれた感動が、両大会に関わるすべての人の心に刻まれ、将来にわたって引き継がれるよう、残された期間で着実に準備を進めてまいりたいと存じます。

Q 両大会に挑む滋賀県選手団や帯同者へのサポート体制と目標達成に向けた決意を伺う。

A 本県選手団へのサポートは極めて重要であり、例年にない規模で臨むことになる今年度は、特に配慮が必要だと認識しております。

国スポに向けましては、日頃の練習から医科学面でのサポートの充実を図りますとともに、本番では各競技に必要なコーチやトレーナーをすべて配置できるよう支援し、選手のコンディション維持やパフォーマンス向上につなげてまいります。

医師として村上先生にはいろいろとお世話になっておりまして、心から感謝申し上げたいと存じます。

また、障スポの選手団は、大規模な大会への参加経験の浅い選手が多いことから、本番を想定した練習機会の充実を図りますとともに、大会当日の選手団の移動や身の回りの支援など、障害特性に応じたサポートを行うことで、選手の皆さんがリラックスして競技に臨めるよう配慮してまいります。

これら質の高いサポートを通じて、選手の皆さんが自信を持って本番を迎え、持てる力をすべて出し切っていただくことで、目標である国スポ総合優勝と、障スポ全種目での本県選手の活躍の実現を目指してまいりたいと存じます。

Q 大会のレガシー継承・将来への活用にあたり、どのようなことを思慮しているのか伺う。

A 大会で活躍いただく選手や指導者が、滋賀の地に残り、子どもたちを始め、県民にスポーツの魅力を伝え、様々な形で県民のスポーツ活動の充実に貢献いただくことを期待いたします。

また、大会を支えていただくボランティアの皆さんには、引き続き大規模大会等、様々な機会でご活躍いただきたいと思います。

本大会に向けて整備を進めてきた施設におきましては、各種競技の実施にとどまらず、大規模大会の誘致やプロスポーツでの活用などを積極的に進め、多くの人がスポーツを「する・みる・支える」場としての賑わいを創出していきたいと存じます。

両大会を通じて得られる有形無形の様々なレガシーは、これからの滋賀にとって貴重な財産でございます。将来に向けたレガシー創出のための取組を全庁あげて推進し、健康しがの実現に向けて、全力を尽くしてまいりたいと存じます。

令和7年度 友好団体政務調査会

友好団体のご要望を頂戴しました！

合計67団体からの要望を5月26日～6月6日のうち8日間に渡って承りました。頂いたご要望については実現に向けて誠意努力いたします。また県内全19市町からの要望を承る令和7年度郡市別政調会を7月29日～8月8日の日程で実施いたします。県内すべてのみなさまの声が県政に反映されるよう頑張って参ります。

【自由民主党滋賀県議会議員団】 〒520－8577 大津市京町4丁目1－1（滋賀県庁内） TEL.077－528－4010 FAX.077－528－5110